

心が豊かになるアーツへの招待

Twilight Concert

トワイライトコンサート

Vol.1



クリストファー・聡・
ギブソン
Christopher So Gibson
チェロ



北島綾乃
Ayano Kitajima
ヴィオラ



村石 達哉
Tatsuya Muraishi
ヴァイオリン



原 いづみ
Idumi Hara
ピアノ



中川 隼
Jun Nakagawa
コントラバス

シューベルト作曲

ピアノ 5 重奏曲「鱒」より

フンメル作曲

ピアノ 5 重奏曲 op. 87 より

萩原俊雄作曲

ピアノ 5 重奏曲「日本の心」美しい日本の歌唱メドレー

ヘンリー・マンシーニ作曲

映画「ひまわり」テーマ曲

クライスラー作曲

ピアノ 3 重奏曲「ザ・オールド・リフレイン」

ロッシーニ作曲

チェロとコントラバスのための二重奏曲

その他

入場無料

2022 7.16 14:30開場 15:00~16:00

コスモホール(大ホール)

主催：(一財) 佐久市文化事業団 0267-82-3962
協力：佐久演奏家協会

ワンナー

1Hコンサート『トワイライト』

おと 音楽の贅を楽しむ

県内で最も早く始めたランチタイムコンサート（会場：佐久平交流センター）。

プレミアムフライデーの特別な時間をお楽しみいただきたく毎月末の金曜日に開催してきましたが、当初の目的を達成したため、令和4年3月に惜しまれつつ終了しました。

それを引き継ぎさらに進化させて始まるのがこの『トワイライト』です。黄昏時や薄明りなどと訳されますが、言葉の持つ響きと、光が満ちる序章のようなコンサートにしたいとの願いを込めタイトルとしました。

コスモホールのステージ上で演奏家を囲むように、指揮者の目線で、生の演奏をシャワーのように浴びていただくつもりです。これこそ倍音の贅であり豊かさ、五感に染み渡りきつと心も喜ぶことでしょう。例えばその雰囲気客席でご覧ください。それぞれのスタイルでお聴きいただける新しいスタイルの演奏会を予定しています。皆さまお気軽にお越しください。

（一財）佐久市文化事業団館長兼芸術監督

奥村達夫

Profile

村石 達哉 ヴァイオリン



武蔵野音楽大学、同大学院、ベルリン芸術大学首席卒業。卒業後、ドイツの“エルブランド・フィルハーモニー”の第1コンサートマスターを務め、その後ソロ活動に移りヨーロッパを中心にオーケストラと共演、音楽祭出演、客演指揮を行い99年に帰国。またバロックヴァイオリンの奏者としても活躍し、その演奏法が認められ2013年にインディアナ大学の招聘を受け演奏。2015年からは毎年ヨーロッパでのリサイタルを再開し、オーストリアのオツタールで夏に行なわれている音楽祭のマスタークラスの講師を毎年務めている。後進を育てることに意欲的で毎年入賞者を輩出、昨年はベルギーで行われたレオニード・コーガン国際コンクールで2位と5位の2名の生徒が受賞している。佐久演奏家協会会員。

北島 綾乃 ヴィオラ



長野市松代町出身。3歳よりヴァイオリンを始める。国立音楽大学器楽学科卒業。第7回大阪国際コンクール入賞。その後、ヴィオラに転向。これまでに、ピアノを根岸きよ子、ヴァイオリンを坂本七美、吉川朝子、中澤きみ子、宮坂裕子、菊池愛、徳永二男、ヴィオラを植村理一、マッシモ パリス各氏に師事。

松代文化ホールワンコインコンサート、ensembleNOVA、須坂メセナホールオーケストラ等、地元の演奏会に多数出演。2016年、須坂メセナホールオーケストラと、ヴィオラソリストとしてコンチェルトを共演。

現在、室内楽、オーケストラ、レコーディング、アーティストのサポート、音楽教室講師など多方面で活動中。佐久演奏家協会会員。

クリストファー・聡・ギブソン チェロ



アメリカ・ミシガン州生まれ。4歳よりチェロを始める。横浜インターナショナルスクール卒業後、2005年にマイエール大学に進学、哲学・政治学を二重専攻。在学中、Janos Starker氏の助手も長年勤めたイエール音楽院のOle Akahoshi氏にチェロを師事する。2012年冬、国際演奏家協会新人オーディションにて入賞。

2017年にはNPO法人Emotion in Motion主催のもと、“BACH Solo”無伴奏チェロリサイタルシリーズをサントリーホール「ブルーローズ」などで開催。佐久演奏家協会会員。

ウェブサイト：www.christophersgibson.com

中川 隼 コントラバス



20歳よりコントラバスを始める。国立音楽大学器楽学科卒業。コントラバスを景山貴之、池松宏、白土文雄の各氏に師事。小野崎純、白土文雄、河村典子の各氏に室内楽の手ほどきを受ける。エルマンノ＝フェラーリ、ペトル＝イウガのマスタークラス受講。2005年、TAN主催アドヴェントセミナークリスマスコンサートに出演。2009年、外務省

主催日本メコン交流年2009のイベントとして、アンサンブルレソナンツ ベトナムツアーに参加。おた芸術学校付属オーケストラ「Jeunesse」講師。また、ロックベースを寺沢功一氏に師事、音楽のジャンルにとらわれない活動をしている。佐久演奏家協会会員。

原 いづみ ピアノ



武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。学長の奨学金を受けるなど優秀な成績で卒業。ウィーン国立音楽大学セミナーにおいてディプロマ取得。成績優秀者によるコンサートに出演して帰国。第24回毎日学生音楽コンクールピアノ部門において長野県第1位。チェンバロも手がけ自宅には二段鍵盤のフレンチタイプのチェンバロを所有している。東京ニューシティ管楽楽団（内藤彰指揮）とピバルディの「四季」全曲演奏会にチェンバリストとして共演し好評を博す。動物の謝肉祭、オペラコンサート、多くのコンサートを企画する。佐久周辺の音楽文化向上のために佐久演奏家協会を立ち上げ地域社会に貢献している。また、ピティナ佐久浅間ステーションを立ち上げ子供たちの音楽文化向上にも力を注いでいる。数々の音楽コンクールの審査員を務める。佐久演奏家協会会長、ピティナ佐久浅間ステーション代表、佐久市文化推進企画委員会副委員長。佐久市高齢者大学芸術鑑賞講座講師。佐久市在住。

- ステージ上でお聴きいただく人数に制限があります。定員になり次第客席での鑑賞となります。予めご了承ください。
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、中止・変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。
- 発熱や咳等の風邪症状のある方やマスク未着用の方は来館をお控えください。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。